

**プロダクションプリンター “imagePRESS C270/C265” を発売
オフィス印刷にも適した高い生産性と用紙対応力で企業内印刷を支援**

キヤノンは、カラープロダクションプリンター「imagePRESS (イメージプレス)」シリーズの新製品として、“imagePRESS C270/C265” を 2022 年 7 月中旬に発売します。



imagePRESS C270
*オプション装着時

企業では、カタログやポスター、名刺といった制作物の内製によるコストダウンへの需要が高まっています。新製品は、高い生産性と幅広い用紙対応力で制作物のオンデマンド印刷を実現し、企業内印刷の拡大を支援します。オフィス向け複合機としての利便性も高めており、社内の DX (デジタルトランスフォーメーション) を推進します。

■ 多彩な制作物の企業内印刷を実現する高画質・高速印刷と幅広い用紙対応力

従来機種^{※1}の高い表裏印刷位置精度や色味安定性に加え、モノクロ印刷を従来の毎分 65 枚から 70 枚 (いずれも A4 ヨコ) に高速化^{※2}し、高画質・高速印刷が求められる企業内印刷に必要な基本性能を備えています。また、長尺紙 (最長 1,300mm^{※3}) や厚紙 (最大 350g/m²) など幅広い用紙に対応し、店舗装飾用の長尺 POP やポスター、名刺やグリーティングカードといった多彩な制作物を作成できます。初心者でも簡単にデザイン性の高いポスターやチラシなどを作成できるウェブアプリケーション「PosterArtist」にも対応しています。

■ 給紙容量を増やした多段デッキにより給紙能力が向上

5,500 枚^{※4}まで給紙可能な多段デッキ (別売り) に新たに対応し、最大 9,660 枚^{※4}の給紙を実現します。チラシなどの大量印刷時に用紙補給の頻度を削減します。封筒の積載や長尺用トレイ (別売り) と併用でき、幅広い用紙の給紙が可能です。

■ オフィス向け複合機と同等のセキュリティ性能などでオフィス用途での利便性を向上

オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE DX」シリーズと同等の高度なセキュリティ性能に加え、ファクス機能の標準搭載や操作部のデザイン共通化など、オフィス用途での利便性も向上しています。標準搭載の ADF (自動原稿送り装置) を一新し、低騒音化を実現しながら、読み取り速度を毎分 270 ページ^{※5}に高速化 (従来機種は毎分 220 ページ^{※5}) しています。クラウド型 MFP 機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」にも対応し、紙文書の電子化による DX を促進します。

製品名	希望小売価格 (税別)	発売日
imagePRESS C270	475 万円	2022 年 7 月中旬
imagePRESS C265	375 万円	

※1 「imagePRESS C170」(2021 年 2 月発売)、「imagePRESS C165」(2019 年 10 月発売)

※2 “imagePRESS C265”のみ。“imagePRESS C270”は従来機種「imagePRESS C170」と同じ毎分 80 枚。

※3 487.7mm より長い用紙は片面印刷のみ可能 (長尺用トレイ (別売り) 装着時)。

※4 64g/m²基準。最大給紙容量 9,660 枚を実現するには、多段デッキ (別売り) のほかに手差しトレイ (別売り) の装着が必要。

※5 A4 両面カラー原稿読み取り時、300dpi×300dpi の解像度において。

<主な特長>

1. 多彩な制作物の企業内印刷を実現する高画質・高速印刷と幅広い用紙対応力

- ・従来機種の高い表裏印刷位置精度や色味安定性に加え、モノクロ印刷を従来の毎分 65 枚から 70 枚（いずれも A4 ヨコ）に高速化。高画質・高速印刷が求められる企業内印刷に必要な基本性能を装備。
- ・長尺紙（最長 1,300mm）や厚紙（最大 350g/m²）など幅広い用紙への印刷に対応。店舗装飾用の長尺 POP やポスター、A4 六つ折りのパンフレット、ブックカバー、名刺、グリーティングカードといった多彩な制作物を作成可能。
- ・ポスター制作やデザインの経験がない初心者でも、簡単にデザイン性の高いポスターやチラシなどを作成できるウェブアプリケーション「PosterArtist」に対応。



多種多様な印刷物が作成可能（イメージ）

2. 給紙容量を増やした多段デッキにより給紙能力が向上

- ・5,500 枚まで給紙可能な多段デッキ（別売り）に新たに対応し、最大 9,660 枚の給紙を実現。チラシなどの大量印刷時に用紙補給の頻度を削減。
- ・封筒の積載や長尺用トレイ（別売り）と併用でき、幅広い用紙の給紙が可能。

3. オフィス向け複合機と同等のセキュリティ性能などでオフィス用途での利便性を向上

- ・不正プログラムの起動を防ぐ改ざん検知など、オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE DX」シリーズと同等の高度なセキュリティ性能を実現。
- ・従来機種では別売りだったファクス機能を標準搭載。ファクスのやり取りが必要なビジネスシーンに対応。
- ・操作部などのデザインも「imageRUNNER ADVANCE DX」シリーズと共通化。オフィス向け複合機と並べて配置しても違和感のない統一性のあるデザインを採用。
- ・標準搭載の ADF（自動原稿送り装置）は低騒音化を実現しながら、読み取り速度を毎分 270 ページに高速化（従来機種は毎分 220 ページ）。クラウド型 MFP 機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」にも対応し、紙文書の電子化による DX を促進。
- ・ステイプルフィニッシャー、中綴じフィニッシャー（いずれも別売り）の性能を改良し、従来は 5 枚までだったエコ綴じ（針なしとじ）が 10 枚まで対応可能。

<カラープロダクションプリンターの市場動向>

近年、ポスターやカタログなどのグラフィックアーツを取り扱う印刷業において、印刷物の少量多品種化や短納期化、オンデマンド印刷やバリエーション印刷への需要がますます高まっています。そのため、高い生産性や高画質、幅広い用紙への対応に加え、正確な画像位置や色安定性など、プロダクションプリンターに対する市場の要求はより高まっています。カラープロダクション市場向けカラープリンターの 2022 年の市場規模は世界市場で約 2 万台の規模になると予想しています。(キヤノン調べ)

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。